

議会改革特別委員会（第10回）

日 時	平成27年11月24日（火）午前10時から
場 所	第1議会委員会室
出席委員	全員
委員外議員	佐合副議長
欠席委員	なし
協議事項	1 美濃加茂市の行政評価について 2 予算決算に関する委員会のあり方について 3 その他

概 要

1 美濃加茂市の行政評価について

<事業評価シートの例として、高山市、関市の事業評価シートを委員長が紹介>

2 予算決算に関する委員会のあり方について

<各会派の考え>

○A会派 … 今までは、予算書をもらったらすぐ定例会に入っていた。予算書では各事業との関連性が分かりにくい。秋の決算審査に向けて理解を深めたい。それまでに執行部の評価シートが準備されることを望む。

○B会派 … 執行部の準備が整えば、この委員会によって事業内容をじっくり聴くことができ、議会としてどのような提案をしていくかにつながる。あわてずに進めていきたい。

○C会派 … 平成28年度は予算に関する説明を全員参加で聞きたい。

○D会派 … 委員会を立ち上げるなら、常任委員会との役割分担をしっかりとしておく必要がある。勉強のため、細かい説明を受ける時間も必要。

○E会派 … まずは予算と事業の内容が把握できるようになればよいのでは。急に進めるとついていけない。

○F会派 … まずは予算と事業の内容をよく聞いて、平成28年度決算、平成29年度予算に向けて準備したい。

- ・ 予算決算審議について再確認。事前に執行部から説明を受ける場合は、事前審査になるので質疑はしない。
- ・ 平成28年度予算審査には準備が間に合わないので、予算の説明は全議員で受けて、定例会での審査は今までどおりとする方向でどうか。

まとめ

- ◎ 行政評価については、執行部と調整を続けるとともに、どのような評価シートを提供してほしいか、また、議会としての評価シートはどのようにするのか、今後も先進市の事例研究等を進める。
- ◎ 予算決算に関する委員会のあり方については、平成28年度予算審議は今までどおりとし、説明を全議員で受ける。そのうえで、今後のあり方を引き続き検討していく。

3 その他

まとめ

- ◎ 一問一答方式の実施方法について、正副委員長で原案をまとめる。